



さん さん  
**燦 燦**

佐世保市立清水中学校  
 学校だより 2号  
 令和8年 4月16日  
 校長 椰尾 吉嗣

学校教育目標：「明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成」

校訓：凛と在れ

生徒会スローガン：「ONで集中 OFFで爆発」

～輝く青春の1ページを～

### お世話になります！

本校勤務5年目となりました校長の 椰尾 吉嗣（なぎお よしつぐ）です。

※「木」へんに那覇の「那」で、椰（なぎ）と読みます。

全校生徒がそろった入学式から1週間が過ぎました。前号では年度が変わる、新学期が始まるなど節目、区切りというものは、「何かを始める」「自分を変える」チャンスです。と書きましたが、この1週間を見てもいたる場面でそのことを感じます。

昨日行われた学級役員任命式では、担当の先生より集合の様子や整列の態度を褒められておりました。また、各学級役員の呼名では、やる気に満ちた大きな声での返事が聞かれ、頼もしさを感じることができました。

きっと誰もが、心の中に期するものがあって令和8年度をスタートさせたのだと思います。それぞれが胸に秘めたこの年度初めの「やる気」や「前向きさ」を継続させて、自分自身の大きな自信に繋げてほしいと思います。私もしっかりと応援していきます。

今年度も校訓『凛と在れ』を常に意識の中心に置き、「ひまわり」のごとく、「明るく、自ら求めて伸びる生徒」を育てていきます。保護者、地域の皆様には、お力添えいただくことばかりですが、共に手を取り合いながら生徒たちに向き合っていただければ幸いです。



### 新入生を皆で歓迎し、サポートしていきます

4月10日（金）からは、1年生も給食が始まりました。給食に関しては運搬や配膳など中学校のルールややり方もありますし、パンの大きさや給食の量など最初は戸惑うことも多いと思いますが、先輩たちも同じような経験をし同じ道を通ってきました。慌てることはありません。一つずつ慣れていってほしいと思います。同じく4月10日（金）の午後からは、全校生徒が体育館に集まり歓迎行事を行いました。これも生徒会を中心に、1年生に早く中学校に親しみ慣れてもらおうという取組です。指定された人数でグループを作って自己紹介をしたり、学年の垣根を越えた交わりで、生徒全員の絆をより強くすることができました。

始業式前日の4月6日（月）には、佐世保中央消防署の方々をお招きして我々教職員の救命救急の研修を行いました。学校が「安心・安全」の場であることは学校経営において真っ先に目指すことでありますし、それに向けて日々取組を重ねておりますが、一方で予期せぬことが起こることもあります。新入生はもちろん全校生徒をしっかりと守りサポートしていくためにも、年度をスタートするにあたり、職員も思いを一つに決意を新たにしました。



鮮明な画像等は、ホームページでご覧ください。